



阿久根市立 阿久根小学校

児童数 447人
学級数 25クラス



テーマ

認め合い、助け合い、共に伸びようとする阿小の子の育成
～自己肯定感と思いやりの心を育む人権プロジェクト～

研究に当たって(テーマ設定の理由)

令和元年度に「人権の花」運動の指定を受け、校内の人権意識は高まりつつあったが、保護者の人権意識の向上を図り、学校と保護者・地域が一体となった人権教育を推進する必要があると考えた。また、自己肯定感の低さから友達関係をうまく築くことができななどの課題があり、児童の人権意識を更に高めていく必要がある。このことから、校内研修の質を高め、教職員の資質向上の推進を図るために、このテーマを設定した。

研究スケジュール

- 8月21日(金) 職員研修「一人一人の人権感覚を高めるための研修」
- 11月24日(火)～12月4日(金) 校内人権旬間
- 12月15日(火) 人権教室「人間関係づくりや人間関係の課題の解決に向けて」
- 1月15日(金) 家庭教育学級「自尊感情の育成について」

特色ある取組(他校にもおすすめの取組)

□ 校内人権旬間 (11/24～12/4)

全学年で、人権に関わる授業の実施や人権標語の取組を行う。また、人権の花「ひまわりを咲かせよう」と花びらに友達のいいところを記入し、友達のよさを認めながら感謝の気持ちをもつことができるように取り組んだ。

□ 校内研修での取組(学級診断尺度Q-Uの活用)

本校では、児童が楽しい学校生活を送れるようにするため、Q-Uを実施し、児童の実態把握を行っている。校内研修でQ-Uの調査結果を分析し、一人一人の児童理解と支援方法について話し合っている。また、学級集団の状態と今後の学級経営の方針を把握し、学級の実態に応じてSSTや構成的グループエンカウンター等を実施することについて共通理解を図っている。

□ 心を育む活動(いのちの授業, ボランティア活動)

6年生が、リモート授業による「いのちの授業」を行い、がんについて、一人一人が問題意識をもって考えを深めることができた。また、毎朝、環境委員会の児童等が靴箱や玄関の清掃活動に取り組んでいる。



【人権の花の掲示】



【ボランティアの様子】

子どもの人権プロジェクト推進校の取組の成果と課題(子どもの変容,よかったこと,今後やってみたいこと)

- 子どもの人権プロジェクト推進校としての取組は、児童や職員だけでなく、保護者とともに人権について学ぶよい機会となった。取組によって、児童の自尊感情や自己肯定感を育むことにつながった。
- 外部講師による人権学習に関する講話を設けたことで、児童の人権意識が高まった。今後も日常生活における言葉遣いや友達関係等の変容までしっかり見取り、継続して取り組む必要がある。